

「衣料型」ウェアラブルを支える3つのコア技術と多彩な機能

Gunzeが保有するコア技術の組み合わせにより、「衣料型」ウェアラブルで要求されるヒトとのインターフェイスとしての多彩な機能を発現します。「衣料型」ウェアラブル用素材だけではなく、サービスとしての新たな価値を創造し続けます。

編みの技術

自在な材料選択

- ・通常ウェアに使用される一般的な繊維から、金属繊維まで、Gunzeが保有するノウハウでニット化が可能。
- ・Gunzeオリジナルの繊維も多数所有し、ニーズに応じた素材選択が可能。

硬い材料がしなやかに変化し、機能性も付加できます。

編組織の自由度大

- ・編み技術とノウハウの保有により、デザイン表現が多彩。
- ・ニット技術の蓄積にて通気性、伸縮性、柔軟性等の機能表現が自在。

機能にあった材料設計が出来ます。

一貫生産ライン所有

- ・材料の加工、編立、二次加工（染色、付加価値加工等）、縫製とウェアの製造ラインを一貫で所有。

あらゆる要望を迅速に対応できます。



ウェア開発技術 (快適設計)

快適設計を生む専門部門の常設

- ・生理学的見地に基づくウェアと体の基礎研究をベースにした専門の評価部門を常設。
- ・データ蓄積と理論を融合してニーズに適合した衣服のパターンを自社内作成可能。

快適性見える化

- ・「気持ちいい」や「心地よい」などの定性的な感覚を衣服内の温湿度や着圧などの数値として定量化。
- ・実際の着用状態や快適性をサーモグラフィーや3Dスキャンなど様々な測定器により可視化。



回路設計技術 (設計デザイン)



ウェアラブルの電気配線

- ・生体電気信号を取り出すための抵接触抵抗の実現と安定性（開発中）。
- ・信号を減衰させない・ノイズを乗せないための、低配線抵抗と絶縁性。
- ・簡易で信頼性の高い無線機器との接続方法（開発中）

タッチパネル製造工程の利用

- ・スクリーン印刷を用いた伸縮可能な電気配線も形成可能（開発中）



Gunzeが提案するコンセプト製品とサービス

バイタルデータ取得用ウェア

衣料型ウェアラブルシステム

家畜冷感システム

導電性ニット線材

発熱ニット

タッチセンサー

Gunzeは全てのお客様にこちよさを提供します。